

# 医療と倫理

責任者名：好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：演習

## ◆担当教員

好士 亮介(医療人間科学 専任講師)

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

網干 博文(法医学 特任教授)

大山 篤(医療人間科学 兼任講師)

尾崎 哲則(医療人間科学 兼任講師)

滝口 旗一(医療人間科学 兼任講師)

中島 一郎(医療人間科学 教授)

升谷 滋行(歯科保存学 I・医療人間科学 兼任講師)

## ◆一般目標 (GIO)

医療従事者に求められる医の倫理の在り方について学び、患者本位の医療の意義を理解する。

## ◆到達目標 (SBOs)

- ①生命倫理の概念を説明できる。
- ②医の倫理の国際規定を説明できる。
- ③医療関連の法律を説明できる。
- ④医療機関の機能を説明できる。
- ⑤患者－医師関係の在り方を説明できる。
- ⑥インフォームド・コンセントの目的を説明できる。
- ⑦歯科医師の研修制度の概要を説明できる。

## ◆評価方法

各授業時間内の課題レポート(30%)、授業最終日の振り返り(20%)と定期試験(50%)によって評価します。

課題レポートは、提示した授業内容からの keyword を基に 100 字～150 字程度の文章にまとめて提出してもらいます。フィードバックとして、後日の授業回でレポート内容に関する解説を行います。

振り返りは 15 週分の学修到達度を評価するために実施するものです。課題提示(事例)を行い、その問題の背景、解釈および解決方法について考えます。

定期試験では、基礎事項の想起、症例・事案に対する問題解決能力を評価します。

提出物が期限内に提出されない場合は減点対象となります。

## ◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
好士 亮介	月曜日 17:00-18:00 医療人間科学分野研究室(3号館3階)	koushi.ryousuke@nihon-u.ac.jp	

紙本 篤	授業終了後に受け付ける。	kamimoto.atsushi@nihon-u.ac.jp	
網干 博文	授業終了後に受け付ける。	aboshi.hirofumi@nihon-u.ac.jp	
大山 篤	授業終了後に受け付ける。	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	
尾崎 哲則	授業終了後に受け付ける。	ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp	
滝口 旗一	授業終了後に受け付ける。	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	
中島 一郎	授業終了後に受け付ける。	nakajima.ichirou@nihon-u.ac.jp	
升谷 滋行	授業終了後に受け付ける。	masutani.shigeyuki@nihon-u.ac.jp	

#### ◆授業の方法

医療における倫理の在り方について、授業を通じて皆さんと理解を深めていきます。医療倫理は患者の背景、医療従事者の役割、関連する各法規・法律等の様々な立場・観点から考える姿勢・習慣が必要であり、まさに医療における行動科学の基盤となります。そこで授業では、座学よりも能動的学習を重視して、毎回演習形式で行います。また歯科医師の医療行為・業務を通して患者に対するインフォームドコンセントの意義について学ぶため、歯学部附属歯科病院見学を予定しています。

#### 【実務経験】

好士亮介：本学付属歯科病院での臨床実習教育診療医（歯周病学）・歯科医師臨床研修での指導歯科医の経歴をもとに、診療参加型臨床実習の学びに資する医療倫理について解説します。

中島一郎：本学付属歯科病院での臨床実習の診療科長（小児・発育系）の経歴をもとに、診療参加型臨床実習の学びに資する医療倫理について解説します。

升谷滋行：本学付属歯科病院における総合診療科の勤務経験にもとづき社会に求められる医療提供の在り方について解説します。

紙本篤：本学付属歯科病院での卒直後研修の在り方について診療科長として解説します。

尾崎哲則：厚生労働省の歯科医療機関に関する各種研究班や自治体等の委員会での経験を踏まえ、歯科医療機関の持つと特性を重視しつつ医療提供体制について、解説します。

網干博文：法医学分野での実務経験を踏まえ、法律的に問題となる医学的事項を中心に、医療行為、承諾と説明など医療倫理的な面についても解説します。

大山 篤：産業歯科保健分野で歯科医療やチーム医療についての教育研究者として活躍している。授業では近年の医科歯科の連携の仕組みや在り方について解説します。

滝口旗一：小児歯科専門医として地域における小児医療に従事している。授業では、開業医としての視点から地域の歯科医療に求められる役割について解説します。

#### ◆アクティブ・ラーニング

医療における倫理の在り方については、医療従事者と患者関係に係る課題を各授業において提示します。課題は、医療事故やハラスメントなど過去の各事例を題材にして、「自分たちがもし当事者であったら、どうすべきなのか？」という多様な観点から議論するような演習を展開します。教科書では知識を学びますが、それだけでなく得られた情報をもとに知識の活用方法について深く理解できるように授業デザインを設計しています。

#### ◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	スタンダード社会歯科学 第8版	石井拓男、尾崎哲 則、平田創一郎、平 田幸夫 編	学建書院	2023
プリント配布				

#### ◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナリズム コンピテンシー：1-1, 1-2, 1-3, 1-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-1

コンピテンス5：医療の実践 コンピテンシー：5-1, 5-4, 5-10 対応するディプロマ・ポリシー：DP-5

コンピテンス6：コミュニケーション コンピテンシー：6-1, 6-2, 6-3, 6-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-6

コンピテンス7：地域社会への貢献 コンピテンシー：7-2, 7-3 対応するディプロマ・ポリシー：DP-7

コンピテンス8：生涯学習 コンピテンシー：8-2, 8-4 対応するディプロマ・ポリシー：DP-8

#### ◆準備学習(予習・復習)

事前に教科書を読んで、授業内容の目的を理解しておくこと。

また各授業終了後に次回の授業の Keyword を提示するので準備学習しておくこと。

#### ◆準備学習時間

各々授業時間半分相当を当てて予習と復習を行うこと。

#### ◆全学年を通しての関連教科

歯科医学序論（1年：医療人間科学I），歯科医学序論（1年：医療人間科学II），プロフェッショナリズムと行動科学（2年：医療人間科学IV），医療と福祉（3年：医療人間科学V），医療コミュニケーション（3年：医療人間科学VII），医療面接（4年：医療人間科学VIII），医療の情報化・国際化（6年：医療人間科学VI）

#### ◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
---	-----	----	----	------	--------	----	----------

1		4.6	7	<p>1. 医の倫理</p> <p>1) 道徳・倫理・慣習と法</p> <p>2) 生命倫理の歴史的経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療における倫理のあり方について理解する。</li> <li>・日本の文化社会，伝統的倫理観や習慣などを踏まえた倫理の重要性を理解する。</li> <li>・生命倫理学は，医療の不可侵性を否定した医療消費者としての患者の権利運動が母体あったことを理解する。</li> <li>・医療における行動科学の意味について考える。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
2		4.6	8	<p>1. 医の倫理</p> <p>3) 歯科臨床における医療倫理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医療現場での医療倫理について，包括的に理解する。</li> <li>・患者の権利をどのように擁護していくかについて考える。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
3		4.13	7	<p>2. 歯科医師の義務と裁量権</p> <p>1) 歯科医師としての条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師になるために必要な事柄を理解する。</li> <li>・歯科医師という職業は知的職業である。その条件を理解する。</li> </ul>	好士 亮介	A- 1-2) 患者中心の視点
4		4.13	8	<p>2. 歯科医師の義務と裁量権</p> <p>2) 患者との信頼関係</p> <p>3) 歯科医師の裁量権</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療は，医師と患者の信頼関係により成立していることを理解する。</li> <li>・信頼を築くものは一体何かを理解する。</li> <li>・医療の中で治療方針は歯科医師の裁量で決められるが，すべて正しいかを考える。</li> </ul>	好士 亮介	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
5		4.20	7	<p>3. インフォームド・コンセント</p> <p>1) インフォームド・コンセントの背景と歴史</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームド・コンセントとは何かを理解する。</li> <li>・ムンテラと全く異なることを知る。</li> <li>・パターナリズムとの違いを理解する。</li> <li>・インフォームド・コンセントの成立する条件を考える。</li> <li>・医師の裁量権よりも患者の自己決定権が優先されることを知る。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-2) 患者中心の視点
6		4.20	8	<p>3. インフォームド・コンセント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の説明義務の範囲を理解する。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-2) 患者中心の視点

				2) インフォームド・コンセントの内容と必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明の義務が免除あるいは軽減される場合を知る。</li> <li>・同意なき医的侵襲は不法行為を構成することを知る。</li> <li>・患者の同意に伴う自由について理解する。</li> <li>・セカンド・オピニオンとは何かを学ぶ。</li> </ul>		
7		4.27	7	4. 人の死 1) 脳死と臓器移植	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓死と脳死ではどちらが正しい死かを学ぶ。</li> <li>・脳死判定にまつわる諸問題を考える。</li> <li>・脳死と臓器移植との関係を学ぶ。</li> </ul>	網干 博文	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
8		4.27	8	4. 人の死 2) 安楽死と尊厳死	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安楽死および尊厳死とは何かを知る。</li> <li>・尊厳死と植物人間との関わりを知る。</li> <li>・安楽死と尊厳死は社会の中で、どのように受け止められているかを知る。</li> <li>・終末期医療にまつわる諸問題を考える。</li> </ul>	網干 博文	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
9		5.11	7	4. 人の死 3) 死の判定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・死の判定がもたらす効果を知る。</li> <li>・死の3徴候説と脳死の関わりを知る。</li> <li>・死体にはどんな種類があるか。病死と異状死体のあることを知る。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
10		5.11	8	3. インフォームド・コンセント 3) 事例供覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォームド・コンセントが問題とされた裁判事例をもとに、その必要性・重要性を理解する。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-2) 患者中心の視点
11		5.25	7	5. 診療所と地域医療 1) 歯科医師の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に貢献する医療人に求められる行動規範について学ぶ。</li> </ul>	滝口 旗一 中島 一郎	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理
12		5.25	8	5. 診療所と地域医療 2) 歯科医師と保健医療政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科医師は、歯科口腔保健の推進についてどのように取り組むのか事例から学ぶ。</li> </ul>	滝口 旗一 中島 一郎	A- 1-1) 医の倫理と生命倫理

13	6.1	7	6. 人の生き方 在り方 3) ターミナルケア I	・ 生老病死という誰もが平等に迎える有限な存在としての人生の終焉である臨終時の本来のあり方，加えて日本の看取りの歴史について概観的に理解する。	中島 一郎	A-1-1) 医の倫理と生命倫理
14	6.1	8	6. 人の生き方 在り方 4) ターミナルケア II	・ 看取りの場，緩和ケアの現場であるホスピス・ケアの理念と現況を認識し，WHO も示唆するスピリチュアル・ペインまで含めたトータル・ペインが現代ホスピス運動の本質であることを理解する。	中島 一郎	A-1-1) 医の倫理と生命倫理
15	6.8	7	7. 患者の権利と 医の倫理 1) 医の倫理に関する 国際規定	・ ヒポクラテスの誓いから，ジュネーブ宣言，ヘルシンキ宣言，リスボン宣言などの医の倫理の国際規定について，それぞれの特徴や違いについて演習を通じて理解する。	尾崎 哲則	A-1-2) 患者中心の視点
16	6.8	8	7. 患者の権利と 医の倫理 2) 現在までの背景 3) 患者の権利・自己 決定権	・ 欧米諸国での患者の権利が，医療にもたらした影響について演習を通じて知る。 ・ 生命倫理と医療倫理の差異について理解する。 ・ 患者の自己決定権について理解する。	好士 亮介	A-1-2) 患者中心の視点
17	6.15	7	8. 法律からみる 医の倫理 1) 歯科三法	・ 歯科医師法および関連法規の基本的な考え方について演習を通じて理解する。 ・ 歯科医師法、歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。	尾崎 哲則	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
18	6.15	8	8. 法律からみる 医の倫理 2) 医療法	・ 医療法の概要について演習を通じて理解する	尾崎 哲則	B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規
19	6.22	7	9. 社会と医療機 関 1) 歯科病院の社会的 役割	・ 医療機関は、地域でどのような社会性が要求されているのかについて、患者の受け入れシステム，地域の他の医療機関などとの連携を地域医療計画から考える。	升谷 滋行	A-5-1) 患者中心のチーム医療

20		6.22	8	9. 社会と医療機関 2) 患者と地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科専門の医療機関としての特性を理解する。</li> <li>・ 病院において患者本位の医療がどのように実践されているかを学ぶ。</li> </ul>	升谷 滋行	A-5-1)患者中心のチーム医療
21		6.29	7	10. 患者と医療機関 1) 歯科病院における研修機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科病院における卒直後研修の意義について理解する。</li> </ul>	紙本 篤	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
22		6.29	8	10. 患者と医療機関 2) 歯科の専門性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科病院における各診療科の特徴と専門医の資格修得について学び、歯科医療の多様性について理解する。</li> </ul>	紙本 篤	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
23		7.6	7	10. 患者と医療機関 3) 医科歯科連携の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合病院における歯科診療について学ぶ。</li> <li>・ 総合病院における歯科と医科との連携についてのあり方を知る。</li> </ul>	大山 篤	A-5-1)患者中心のチーム医療
24		7.6	8	10. 患者と医療機関 4) 病院のスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合病院における歯科の診療の流れや各スタッフの役割について理解する。</li> <li>・ 病院スタッフ間におけるチーム医療について学ぶ。</li> </ul>	大山 篤	A-5-1)患者中心のチーム医療
25		7.13	7	10. 患者と医療機関 5) 歯科病院見学実習でのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本学部附属歯科病院の社会的役割における位置付けについて理解を深める。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
26		7.13	8	10. 患者と医療機関 5) 歯科病院見学実習でのコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科病院での、患者－歯科医師関係やコミュニケーションを主軸に観察する方法を理解する。</li> </ul>	好士 亮介	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
27		7.20	7	10. 患者と医療機関 6) 臨床実習の意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医学教育における臨床実習の意義を学ぶ。</li> </ul>	中島 一郎	A- 1-3) 歯科医師としての責務と裁量権

28		7.20	8	10. 患者と医療機関 6) 臨床実習の意義	・診療参加型臨床実習における学習方法について理解する。	好士 亮介	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
29		7.25	7	11. 振り返り 1) 歯科医療に求められる役割 ※火曜日に実施	・今までの授業概要の振り返りを行うとともに課題演習を通じて理解度を確認する。	中島 一郎	第1～28回授業に関するコアカリ全て
30		7.25	8	11. 振り返り 2) 歯科医師に求められる役割 ※火曜日に実施	・歯科診療の特徴と歯科医師に求められる役割を課題演習を通じて理解する。 ・歯科医師になるために必要なこれからの学修目標について確認する。	好士 亮介	第1～28回授業に関するコアカリ全て

